



菅原 節郎 議員

- 1、津波到達地点の表示について
- 2、学力テストについて

市内には破壊されずに残った公共施設を中心に表示がなされているが、その数は非常に少なく、また目立たない。我々も

備えとして、防災関連の整備とあわせて非常に重

いきたい。

そのひとつである。市には破壊されずに残った公共施設を中心に表示がなされているが、その数は非常に少なく、また目立たない。我々も

備えとして、防災関連の整備とあわせて非常に重

いきたい。

Q 津波到達地点の表示について
A 非常に重要と認識している

Q 震災の記憶と教訓を後世に引き継いでいくのは我々の責任である。津波の到達地点を表示して、忘れることがないようにしていくのもそのひとつである。

A 市長 震災の教訓とともに、防災意識を後世に引き継いでいくことは、将来に対する備えとして、防災関連の整備とあわせて非常に重

いきたい。



▲都市河川で上流へ整備延長を



木村 清一 議員

- 1、人口減少・少子化対策の充実強化を目指せ
- 2、定川を都市河川とした取り組み整備について

Q 人口減少、定川整備対策充実を
A 総合計画で特に重点化し取組む

Q 地方創生への取り組みの中で地方総合戦略を策定し、少子化対策・人口減少対策に多くの提案をしている。

A 市長 第2次総合計画等では、この少子化対策を特に重点化して取り組んでいく。待

定川に対する排水放出量は年々増大傾向にある。東日本大震災の復旧では、定川橋まで平均海面高14・5mでの整備だが、都市河川としてさらに上流まで取り組むべきだ。

一方、総合計画の位置付けは弱く整合性が必要。一極集中を回避するような覚悟と長期的視点での取り組みを示すべきだ。子ども子育て支援条例等を策定してはどうか。

Q 定川を都市河川とした取り組み整備を積極的に進めるべき。

A 市長 議員ご指摘の必要性は認識している。都市河川として県と協義調整を図っていく。

要であると認識している。記憶を風化させず、防災意識を維持するために26年度に市内50か所に設置した。国・県の施設や道路にも表示されたので、おおむね完了したものと認識しているが、今後、高い効果が期待できると認められる場所等がある場合には、随時対応していきたい。

市長 議員ご指摘のとおり災害対策の必要性は認識している。都市河川として県と協義調整を図っていく。

定川に対する排水放出量は年々増大傾向にある。東日本大震災の復旧では、定川橋まで平均海面高14・5mでの整備だが、都市河川としてさらに上流まで取り組むべきだ。



▲ここまで来ました新東名2丁目付近